

工事の げんば 現場より



今はこんな様子だよ。



2月2週目

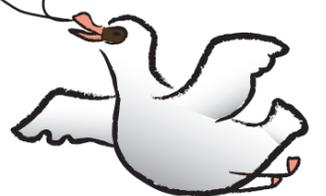
壁や床・天井の解体を伴った今回の工事では、解体に先駆けて室内の建具（襖・障子など）を取り外して安全な場所に移して保管していました。解体箇所の復旧が進み、畳に続いて襖や障子も元通りに納める作業を行いました。建具が戻ると、工事作業中の場所から一気に「部屋」の雰囲気の様変わり。畳表と同様に改められた障子紙は真っ白でパリッとしていて、背筋が伸びるような気持ちの良い空間になっています。



襖は複製品ですが、コロタイプという特殊な技能で作成されたものであるため、美術品相応の扱いをしました。収納場所から運搬し開梱・設置する作業を担ったのは美術品収納運搬のプロ、慎重な作業で元の位置に素早く丁寧に戻されていきました。



シミも破れもない
綺麗なまっさらな障子
大切に扱いたいね。



障子も綺麗に張り替えられ、元の場所に納められました。